



がごしま 県議会だより

第 44 号

平成18年12月28日(年2回発行)

編集発行 鹿児島県議会
☎890-8577
鹿児島市鴨池新町10番1号
電話 099-286-2111(代)

かごしま県議会だよりは、点字版、音声版を発行しています。お問い合わせは、県議会事務局まで。

県議会この1年の動き



総合治水や被災者生活再建支援等を協議した災害対策協議会(8月)

◀県北部豪雨の被災地調査(薩摩川内市：7月)



平成十八年を振り返って

鹿児島県議会議長 金子万寿夫

今年、県政にとって今後取り組むべき様々な課題が生じた一年でした。県内では七月に、県北部豪雨によって未曾有の災害が発生しました。今後、川内川や米之津川の激特事業等の取組により、二度とこのような災害が発生しないよう抜本的な改修を進めることが課題となりました。

また、国では骨太方針2006の策定とこれに伴う地方交付税改革が行われるとともに、地方分権改革推進法も成立し、地方行政は、限られた財源の中で自己決定、自己責任の行政運営が一層求められています。

このような中、県議会としても、県政が新たな地方分権に対応できるように、議会改革に取り組み、行政監視機能の強化や政策提言型の議会審議に努めています。



農林水産委員会による意見交換会(三島村：11月)



議員連盟による拉致被害者救出の署名活動(12月)

議会映像配信中 (本会議の様子がインターネットで御覧になれます)



会議録掲載中 (本会議、委員会の会議録がインターネットで検索、閲覧できます)

県議会ホームページ <http://www.pref.kagoshima.jp/gikai/>

定例会を振り返る

平成18年第2回定例会

骨太方針と本県行財政改革などを論議
WTO農業交渉に関する意見書を可決

第二回定例会は、六月十六日から七月六日までの二十一日間にわたって開かれ、知事等の退職手当に關する条例改正議案、川薩清修館高校の設置に係る県立高校設置条例改正議案、県公安委員会委員の人事同意議案など二十七件の議案が可決、承認又は同意されました。

また、「JR九州に係る支援策の継続を求める請願書」など十一件の請願・陳情が採択されるとともに、「WTO農業交渉に関する意見書」など四件の意見書と「北朝鮮のミサイル発射に抗議する決議」が可決されました。

本会議では、自民党県議団の吉留厚宏議員と社民・無所属連合のくしげ勝美議員が代表質問を、各会派の十六名が一般質問を行い、それぞれ、骨太方針2006と本県行財政改革、バス路線廃止問題、安全・安心のまちづくりなどについて論議を展開しました。
可決された意見書等

- ・WTO農業交渉に関する意見書
- ・違法伐採への対応強化を求める意見書
- ・JR九州に対する経営支援策に関する意見書
- ・出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに關する法律及び貸金業の規制等に関する法律の改正を求める意見書

委員会の審査状況等

・北朝鮮のミサイル発射に抗議する決議
各常任委員会は、それぞれ付託議案のすべてを可

決又は承認すべきものと決定するとともに、請願・陳情についても採択・不採択の適否等を決定し、併せて、意見書の発議(三件)を決定しました。

このほか、放置車両取締の民間委託、安心・安全な食の供給、林業・水産業の担い手育成等、バス路線廃止問題、防災対策、新たな企業誘致戦略、キャリア教育、介護保険、青少年対策などについて種々論議を交わしました。

また、行財政改革特別委員会は、共生・協働の地域社会づくり、県の組織機構改革などについて調査しました。

平成18年第3回定例会

百十八億円の一般会計補正予算を可決、
県北部豪雨災害対策、バス路線廃止問題などを論議

第三回定例会は、九月十九日から十月十一日までの二十三日間にわたって開かれ、七月の県北部豪雨等の災害復旧に要する経費百九億九千四百万円を含む一般会計補正予算案、県情報公開・個人情報保護審査会条例制定議案、県教育委員会委員の人事同意議案など十九件の議案が可決、承認又は同意されました。また、平成十七年度決算認定議案三件は継続審査することとされました。

また、「乳幼児医療費の無料化について」など四

平成十八年第一回定例会については、「かごしま県議会だより」第四十三号(五月発行)に掲載しています。



共生・協働の地域社会づくりを目指して4月にオープンした共生・協働センター(かごしま県民交流センター内)

件の陳情が採択されるとともに、「県北部豪雨災害に係る災害復旧対策等に関する意見書」など十件の意見書と、「飲酒運転撲滅に関する決議」など二件の決議が可決されました。

本会議では、自民党県議団の鶴菌真彦議員、市ヶ谷誠議員、社民・無所属連合の福山秀光議員と公明党県議団の成尾信春議員が代表質問を、各会派等の十五名が一般質問を行い、それぞれ、県北部豪雨災害対策、飲酒運転抑止対策、バス路線廃止問題など

に論戦を展開しました。
可決された意見書等

- ・地方交付税に関する意見書
- ・特殊土じよう地帯災害防除及び振興臨時措置法の期限延長に関する意見書
- ・内之浦宇宙空間観測所の利用促進に関する意見書
- ・公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書
- ・高規格幹線道路等の早期整備及び道路特定財源の確保に関する意見書
- ・私学助成制度の充実・確保に関する意見書
- ・水俣病対策の推進に関する意見書
- ・乳幼児医療費無料化制度の創設を求める意見書
- ・地方分権の推進に関する意見書
- ・平成十八年七月県北部豪雨災害に係る災害復旧対策等に関する意見書
- ・飲酒運転撲滅に関する決議
- ・北朝鮮の地下核実験に抗議する決議



甚大な被害が発生した7月の県北部豪雨 (さつま町の浸水状況)

委員会の審査状況等
各常任委員会は、それぞれ付託議案のすべてを可決又は承認すべきものと決定するとともに、請願・陳情についても採択・不採択の適否等を決定

し、併せて、意見書の発議（八件）を決定しました。
このほか、県政一般に関する調査では常任委員会が県北部豪雨災害に係る問題を取り上げ、特に企画建設委員会は国土交通省川内川河川事務所長等三人の参

平成18年第4回定例会

地域振興局等設置条例案を可決 障害者自立支援、EPA交渉などを論議

第四回定例会は、十一月二十九日から十二月十九日までの二十一日間にわたって開かれ、地域振興局等設置条例制定議案、議員報酬特例条例制定議案（左下欄参照）、職員給与条例改正議案、安全・安心まちづくり条例制定議案など三十件の議案が可決、認定又は同意されました。

また、「寝待林道の土砂崩壊対策について」など四件の陳情が採択されるとともに、「日豪経済連携協定交渉を開始しないことを求める意見書」など二件の意見書が可決されました。

本会議では、自民党県議団の大園清信議員と社民・無所属連合の桐原琢磨議員が代表質問を、各会派の十六名が一般質問を行い、それぞれ、行財政運営、障害者自立支援、経済連携協定（EPA）交渉などに論戦を展開しました。

可決された意見書

- ・日豪経済連携協定交渉を開始しないことを求める意見書
- ・障害者自立支援制度の改善を求める意見書

委員会の審査状況等

各常任委員会は、それぞれ、付託議案のすべてを可決又は認定すべきものと決定するとともに、請願・陳情についても採択・不採択の適否等を決定し、併

考人を招致し、川内川の治水対策について論議しました。
また、行財政改革特別委員会は、出先機関の組織機構改革に関し、総合事務所設置に向けた基本的な考え方について調査しました。

せて、意見書の発議（二件）を決定しました。

このほか、平成十九年度の収支見通し、日豪経済連携協定の本県農業への影響、さんふらわあの志布志港撤退、鹿児島盲・聾・養護学校整備の考え方、県立病院事業などについて種々論議を交わしました。

また、行財政改革特別委員会は、総合事務所設置計画案等について調査し、地域振興局等設置条例制定議案を可決すべきものと決定しました。

議員報酬10%削減を可決 議長15%副議長12%、平成19年度

第四回定例会では、議員提案による議員報酬の削減を内容とする議員報酬特例条例が可決されました。
本県財政は来年度も引き続き極めて厳しい状況が見込まれます。

県議会では、これまで五年間にわたり議員報酬の削減等に

より経費削減に努めてきました。全議員合意のもと、来年度は議長15%、副議長12%、議員10%の報酬削減を行うものです。今後とも、一日も早い県財政の健全化が図られるよう取り組んでまいります。

県内を巡って (常任委員会行政視察)

総務警察委員会

総務警察委員会は、行財政対策、危機管理及び消防防災対策、警察行政等を主眼に、五月には奄美地区、八月に鹿児島・南薩・北薩地区、十一月に始良・伊佐地区の視察を行いました。

行財政対策については、知名町と蒲生町で町長、町議会議長等と市町村合併に関する意見交換を行いました。また、和泊町ではサンサンテレビを視察し、地上デジタルテレビ放送の開始に伴う財政上の問題などについて調査を行いました。

危機管理及び消防防災対策については、県北部豪雨で被災したさつま町の現場を視察するとともに、被災した住民の方々から生活状況や要望を伺いました。また、南さつま市では自主防災組織の方々との意見交換を行い、災害時における自主防災組織の役割について問題点や課題の把握に努めました。



車両事故を想定した救助訓練(県警機動隊)

警察行政については、名瀬警察署や横川警察署、機動隊、交番などの視察を行いました。

各委員会においては、それぞれ所管する事務について、実際に見聞したことを審査又は調査の参考とする目的から、県内各地の行政視察を実施しています。

た。名瀬警察署では若手警察官との意見交換を行い、若手警察官が使命感を持って仕事に取り組んでいることを改めて実感しました。また、機動隊では日頃の訓練状況についても視察を行いました。

このほか、NPO法人ユーアイ自立支援の会(奄美市)や山野自治会安全パトロール隊(始良町)などを視察し、県の施策である共生・協働の地域社会づくりについて実情や課題の把握に努めました。

農林水産委員会

農林水産委員会は、本県の基幹産業である農林水産業の振興対策等を主眼に、五月には北薩地区、七月に始良・伊佐地区、十一月に三島村の視察を行いました。

農業振興については、規制緩和により建設業者等も参入してらっきょう栽培に取り組む薩摩川内市で、その収穫や集出荷施設を視察し、生産者の方々とはブランド化に向けた取組や担い手育成対策等について意見交換を行いました。また、鹿児島黒牛の生産性の向上やかごしま黒豚のブランド確立に向けた取組について調査するとともに、鶏糞を化石燃料の代替エネルギーとして活用する鶏糞発電施設を視察しました。

林業振興については、始良地区林材協会の方々と地材地建の推進、海外への輸出を含めたかごしま材の需要拡大の取組について意見交換を行いました。水産業振興については、霧島市と長島町のブリの養殖いけすや加工施設を視察し、安心・安全で良質



農業に参入した企業によるらっきょう生産(薩摩川内市)

なブリの供給や販売促進の取組について調査を行うとともに、養殖漁業の新たな展開等について意見交換を行いました。

さらに、当委員会として九年ぶりの訪問となった三島村では、硫黄島と黒島で住民の方々

と意見交換を行い、黒毛和牛の粗飼料の確保や大名竹の竹林改良など農林水産関係の課題のほか、定期船の一日一便体制の実現、小・中学生の「しおかぜ留学制度」の継続など様々な分野にわたって意見と要望を伺いました。

企画建設委員会

企画建設委員会は、県政の重要計画、交通・情報通信体系の整備、県土の保全、生活環境の整備などの観点で、五月に鹿児島・川薩・北薩地区、七月に奄美地区、十一月に曾於・肝属地区の視察を行いました。

県土の保全と生活環境の整備については、川内川改修に関して現地視察を行い、薩摩川内市の輪中堤整備について川内川河川事務所から説明を受けました。広域幹線交通網の整備については、肥薩おれんじ鉄道に体験乗車するとともに、代表取締役社長から今後の取組等について話を伺いました。

高規格幹線道路の整備については、東九州自動車道の大隅～末吉財部間にある菱田川橋の視察を行い、その進捗状況等について説明を受けました。

離島振興については、奄美大島において和光パイパスや加計呂麻島の県道整備、港湾整備、道路改築の状況等を視察しました。

情報通信体系の整備については、NHK鹿児島放送局において放送設備等の概要や地上デジタル放送について説明を受けました。



国道58号和光バイパスの工事現場(奄美市)

このほか、肝付町においては、日本宇宙少年団うちのうら銀河分団や地域住民の方々と意見交換を行い、宇宙空間観測所を中心とした地域おこしの取組などについて幅広い範囲で貴重な意見を伺いました。

後の取組をテーマに、大霧島観光協会と国立公園霧島観光協会の方々と意見交換を行いました。



小・中併設校の授業(龍郷町立赤徳小・中学校)

商工業の振興については、県産業支援センターと工業技術センターにおいて中小企業の支援や地場産業の育成の取組について説明を受け、また、商店街や地域経済の活性化における商工会の役割などをテーマに曾於市商工会の弥五郎どん商学校の方々と意見交換を行いました。

教育振興については、小・中・高の学校をそれぞれ訪問し、小・中併設校の利点や課題、中高一貫教育の効果や課題、高校における特色ある職業教育の取組などを視察に調査を行うとともに、授業参観やふれあい給食等の中で、児童・生徒の皆さんの声を伺いました。

このほか、県北部豪雨災害に関しては、湧水町の小・中学校、さつま町の虎居商店街の状況を調査し、同商店街では被災商店の方々から復興に向けての取組や行政への要望などを伺いました。

環境生活厚生委員会

環境生活厚生委員会は、青少年の健全育成や環境対策、少子化対策、高齢者・障害者等の保健福祉の

増進等を主眼に、五月に熊毛地区、七月に鹿屋・曾於地区、十一月に鹿児島・南薩地区の視察を行いました。

視察では、地域福祉の最前線で活躍している日置市の民生委員・児童委員の方々、ウミガメの保護に取り組む屋久島うみがめ館、ワカメによる錦江湾の水質浄化等に取り組むいきいれニコニコ若者クラブ、国立療養所・星塚敬愛園の入所者の方々、鹿屋市、日置市、曾於市、西之表市等の福祉施設や医療施設で働く方々等と、それぞれの課題や今後の方策等を共に考える機会を得ることができました。

また、本年度から指定管理者制度を導入した県文化センター・宝山ホールや大気・水質等の監視測定等に取り組む環境保健センター、食の安全確保に努める末吉食肉衛生検査所等の県有施設をはじめ、産学官の連携でがんの先端治療等に取り組むメディアポリス指宿、少子化対策にも貢献する地域の子育て支援センター、焼酎かすを飼料化する施設など様々な民間施設についても積極的に視察を行いました。

さらに、本年度から地方公営企業法の全部適用を受けることとなった県立病院については、鹿屋医療センターと薩南病院を視察し、地域医療の充実や経営健全化のあり方等について調査しました。

文教商工観光労働委員会

文教商工観光労働委員会は、商工業及び観光振興対策、教育振興対策等を主眼に、六月に始良・伊佐地区、七月に曾於・肝属地区、九月に県北部豪雨災害の被災地区、十一月に奄美地区の視察を行いました。

観光振興については、奄美のスポーツアイランド構想におけるスポーツ合宿の誘致の取組と施設について調査を行いました。また、霧島観光の現状と今



焼酎かすの飼料化施設(いちき串木野市)

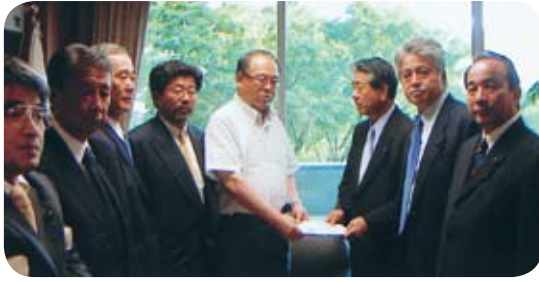
トピックス

災害対策協議会を開催 関係省庁へ要望

七月下旬、県北部地域では記録的な豪雨が発生し、五名の尊い命が失われ、道路、河川、住宅、店舗、農作物などに甚大な被害が発生しました。

県議会では、直ちに現地調査を行うとともに、災害対策協議会を開催しました(表紙写真参照)。

協議会では、ビデオや写真を使って被害状況等の説明を受けた後、災害の原因、総合治水の必要性、災害救助法や被災者生活再建支援法の適用、災害見舞金支給などについて真剣な協議が行われ、県当局に対し、被災状況の迅速な把握と災害復旧に万全を期すよう要請しました。



自民党幹事長に災害復旧対策を要望

また、八月三日には、議長や地元議員が知事部局と合同で国土交通省、農林水産省、総務省、経済産業省などの関係省庁

と自由民主党本部に赴き、災害復旧対策について要望を行いました。

九州各県選出国會議員等と 意見交換



国會議員に地方の実情を訴える金子議長

九州各県議会議長会と九州各県選出国會議員等との意見交換会が、十一月十日に東京で行われました。

これは、地方分権改革が進む中、国會議員に最近の地方の実情を理解してもらうことが必要との認識から、議会側の呼びかけで開催されたもので、国會議員四十六名(代理を含む)と九州各県議会議会の正副議長等五十九名が参加しました。

議会側からは、地方公共団体の安定的な財政運営に配

慮し、地方交付税等一般財源の総額を確保すること。また、新型交付税は、条件不利地域への配慮を行うこと。

道路特定財源は、受益者負担という制度の本来の趣旨を踏まえて特定財源としての性格を維持し、制度を堅持すること。

などの意見が出され、国會議員側からは、議会側のこれらの意見に賛同し、地方を支援していく旨の見解が示されました。

なお、意見交換会で出された意見は、九州各県議会議長会と国會議員との連名で関係省庁に提出しました。

韓国全羅北道議會を訪問

県議会の議員友好訪問団(小幡兼興団長、九名)が、九月十一日から十四日まで、韓国・全羅北道議會を訪問しました。

今回の訪問は、平成十三年度に全羅北道議會と本県議會との間で締結した「交流協力に関する合意書」に基づき両議會の友好を深めるためのもので、県議會単独での訪問は今回が初めてです。

訪問団は、金秉坤(キム・ジョンゴン)議長はじめ多くの議員の出迎えを受けた後、「災害対策」と「観光振興」をテーマにそれぞれの行政組織体制や施策等について紹介し、意見交換を行いました。双方の議員が活発に発言し、有意義なものとなりました。

また、訪問団は、この訪韓を機に、全羅北道副知事、(財)自治体国際化協会ソウル事務所、在韓国日本国大使館(株)

大韓航空本社、全羅北道かごしまクラブも訪問し、各機関・団体との友好などにも努めました。



全羅北道議會で歓迎のあいさつを受ける訪問団

企業誘致に関する勉強会 を開催

県議会では、議会改革の一環として県政に関する重要なテーマについての情報収集等のため、全議員による勉強会を開催しています。

今年度は、十二月八日、県企業誘致アドバイザーでソニー株式会社の元執行役員副社長の中村末廣氏を迎え、「企業誘致」をテーマに、電子関連産業を中心とした日本の産業界の現状とこれを取り巻く世界の動き、そして県内電子関連産業の現状と振興策、企業誘致対策などについて学びました。

講演の中で中村氏は「九州には最新鋭の自動車工場が集まっている。自動車



ビニールハウスでバラ栽培に取り組む青年とともに

近年、経済成長の著しい中国における農業、世界遺産保護、観光交流などについて調査するた

中国の農業、交易などを 研修視察

継続的な誘致活動が必要」などと話し、県当局と議会が一体となった誘致の取組を求めました。



講演する県企業誘致アドバイザー

関連の半導体工場などの誘致を目指してはどうか。鹿児島にもチャンスはある。また、県に企業誘致専門の職員を育成し、顔

め、八月二十八日から九月二日まで、八名の議員を上海市と昆明市、麗江市へ派遣しました。
中国からの農産物の輸出攻勢に対する市場や生産者の対抗策、中国からの誘客を促進するための取組、拡大する中国市場への販売戦略などを考える上で意義深い研修視察となりました。

県民の皆様へ

鹿児島県議会議員は、公正かつ清廉な政治活動を行うため、公職選挙法を遵守するとともに、鹿児島県議会議員政治倫理要綱を定め、県内全域において、次の事項を遵守することとしております（自筆による答礼の年賀状や親族への祝儀等例外があります）。

- 県民の皆様への御理解と御協力をお願いいたします。
- 会合、大会、祭等に際し、金品を贈らないこと。
- 新聞等への賛助広告や年賀状、挨拶状等を出さないこと。
- 冠婚葬祭に対する祝儀、香典、花輪供花や病氣見舞等の金品を贈らないこと。
- 地域の行事や冠婚葬祭等に対し、電報等を贈らないこと。
- 中元、歳暮、饂飩等の提供及び收受をしないこと。
- 陳情者等に飲食物を提供したり、みやげ物等を贈らないこと。



健闘を誓い、開会式に臨む本県選手団

スポーツ振興議員連盟

当議員連盟は、九月三十日から兵庫県で開催された第六十一回国民体育大会（のじぎく兵庫国体）に参加し、本県選手団の激励と応援を行いました。
今年の本県選手団は、四百六十人が三十五競技に熱戦を展開し、ハンドボー

議員連盟の活動状況

その詳細は報告書としてまとめられ、県議会図書室やインターネット（県議会ホームページ）で見ることができます（報告書の発行は平成十九年一月の予定です）。

かごしま文化芸術振興議員連盟

当議員連盟は、文化芸術を愛する県民風土を醸成するとともに、個性豊かな芸術文化の創造に寄与するための活動を行っています。
九月八日には、加治木島津家第十三代当主島津義秀氏を連盟に招き、室町時代末期から薩摩藩で発達したとされる薩摩琵琶について、その演奏と講演を聴き、精神修養と情操涵養という薩摩琵琶の役割について学びました。

北朝鮮による鹿児島県人拉致被害者の救出を支援する議員の会

当議員連盟は、北朝鮮による拉致疑惑の真相究明を求め、鹿児島県人拉致被害者の救出を支援することを目的として、今年三月に設立され、国への要望活動等を行っています。
北朝鮮人権侵害問題啓発週間（十二月十日～十六日）の初日には、すべての拉致被害者が救出されるよう、拉致被害者家族等と一緒に街頭署名活動を実施しました（表紙写真参照）。

県議会の傍聴

県議会の本会議は、どなたでも傍聴できます(18歳未満の方は、議長の許可が必要となっています)。傍聴を希望される方は、本会議の開かれる日に、傍聴席入り口で傍聴券の交付を受けてください。

傍聴席には、補聴設備や車椅子の傍聴スペースもあります。

常任委員会、特別委員会についても、委員長の許可を得て傍聴することができます。

県議会庁舎の見学

議会庁舎は、どなたでも見学できます(所要時間約30分)。職員が本会議場や委員会室などを案内します。

〔見学者の紹介(平成18年度)〕

| 日付 | 団体名 | 人数 |
|--------|-------------------|-----|
| 5月2日 | 龍郷町立龍南中学校 | 10 |
| | 南さつま市立万世中学校 | 105 |
| 5月10日 | 鹿児島市川上町老人クラブ | 24 |
| 5月22日 | 薩摩川内市川内東照会 | 35 |
| 5月25日 | 屋久町立上山小学校・栗生小学校 | 35 |
| | 西之表市立下西小学校 | 35 |
| 6月16日 | 種子島菓子組合 | 7 |
| 6月23日 | 鹿児島市立宇宿小学校 | 41 |
| 6月27日 | 指宿市二月田浄心会 | 17 |
| | 鹿児島県立短期大学 | 26 |
| 7月3日 | 指宿市立柳田小学校PTA | 27 |
| 7月4日 | 鹿児島市立草牟田小学校 | 36 |
| 7月7日 | 姪良町立帖佐中学校 | 34 |
| | 大韓民国全羅北道大学生 | 21 |
| 7月21日 | 大崎一三三会 | 21 |
| 7月27日 | 有限会社グリーンファーム | 15 |
| 7月31日 | 鹿児島大学 | 10 |
| 8月7日 | 鹿児島県庁保健福祉部職場こども見学 | 9 |
| 8月8日 | 鹿児島県庁農政部職場こども見学 | 30 |
| 8月21日 | 鹿児島県立短期大学・志学館大学 | 11 |
| 8月29日 | さつま町立宮之城中学校PTA | 23 |
| 9月20日 | 鹿児島市立東谷山小学校PTA | 32 |
| 9月22日 | 曾於市末吉町中部自治公民館 | 44 |
| 9月25日 | 錦江町田代第二お茶振興会 | 39 |
| | 日置市立土橋中学校60会 | 19 |
| | 日置市東市来町教育委員会 | 19 |
| 9月27日 | 姪良町北山校区自治会 | 9 |
| 10月17日 | さつま町たんぼぼ会 | 20 |
| | 日置市高齢者クラブ連合会 | 15 |
| 10月20日 | 大口市立針持小学校 | 14 |
| | 薩摩川内市立滄浪小学校 | 11 |
| 10月25日 | 上屋久町立宮浦小学校 | 54 |
| 10月27日 | 加治木町立加治木小学校 | 10 |
| 11月6日 | 南さつま市立津貫小学校PTA | 17 |
| 11月15日 | 鹿屋市旭原老人会 | 27 |
| 11月16日 | 枕崎市立真寺 | 22 |
| 11月17日 | 池田高等学校 | 15 |
| | 知覧町知覧校区公民館 | 34 |
| 11月20日 | 指宿市開聞町商工会 | 11 |



西之表市立下西小学校の皆さん



さつま町立宮之城中学校PTAの皆さん

見学を希望される方は、議会庁舎受付又は総務課総務係までお申し込みください。

なお、団体で見学を希望される場合は、あらかじめ総務課総務係まで御連絡ください。

連絡先 鹿児島県議会事務局総務課総務係
099-286-2111 (内線5014)

事務局の組織と問い合わせ先

県議会についてのお問い合わせは、県議会事務局の各課・室へお寄せください。

総務課

- 議会の庶務、経理
- 議員報酬、費用弁償
- 議会案内
- 資産公開
- 議会施設の管理

TEL:099-286-5013
FAX:099-286-5655

秘書室

- 正副議長の秘書事務
- 議員表彰
- 礼遇議員

TEL:099-286-5017
FAX:099-286-5656

議事課

- 本会議
- 議会運営委員会
- 常任、特別委員会
- 会議録
- 請願、陳情

TEL:099-286-5033
FAX:099-286-5659

政務調査課

- 県政に係る調査
- 資料・情報の収集
- 議会資料の作成
- 議会広報
- 情報公開窓口
- 議会図書室の管理

TEL:099-286-5043
FAX:099-286-5659

県議会のホームページ

- 会期日程、請願・陳情の手続き、議員紹介、会議録検索、広報テレビ番組の放送日時等を掲載しています。
- ホームページに対する御質問・御意見をお寄せください。

ホームページアドレス
<http://www.pref.kagoshima.jp/gikai/>



「かごしま県議会だより」は、古紙配合率70%の再生紙と大豆インキを使用しています。